

賞与 0.2 月分の引き上げ実現

私たち市大教員組合は、2023年頃からの激しい物価上昇にともない、大学当局側に対して定期的に賃金引き上げの団体交渉をおこなってまいりましたが、現状、当局側から**賃上げを拒否され続けている**状況です。

そこで今年度に入ってからは、物価上昇が止まらないまま今後も賃上げがないと我々の**給与は実質的にマイナスになっていく**という危機意識を持ちながら、人事課との折衝を重ねてまいりました。当面の方針としては、横浜市職員と同じように、横浜市人事委員会からの勧告と本学教員の給与を連動させるためにはどのような地固めの議論が有効かを検討し、手始めとしては**賞与水準の同一化**を狙うのが適切であろうと考え、調整をおこなってまいりました。

そして先般、賞与水準の同一化について当局側と合意に至り、今回の年末手当で市職員との差額 0.2 月分の引き上げを実現しました。これは教員一人あたり平均で**10万円前後のアップ**となる計算です。

当局との交渉力は、組合に加入してくださる先生が多いほど増していきます。私たち**教員がより団結して当局側と折衝を重ねていく**ことで、今後、賃金引き上げの実現性が高まります。今後とも、組合活動に対するご理解、ご支援を賜れば幸いです。

2025年12月
横浜市立大学教員組合 執行委員一同

組合ニュース
是非ご覧ください

加入申込 QR コード
ご加入お待ちしております。

